



# Nepal Blind Support Association

ネパールの視覚障害者を支える会(NBSA)会報

第 32 号 2012 年 2 月

NBSA : <http://NBSA.sakura.ne.jp/>

主内容： 国際障がい者デー / 定例活動報告 / 役員改正報告 / 早坂氏のシヴァプuri山行 / 私の 3 度目のネパール旅行 / ネパールの小説 / ラジオ放送から学ぶ / S . ラゾパティアのゴールデンアルバム / 千葉のフェアトレードショップからのお知らせと事務局日より



聞くところによると、2012 年は波乱に富んだ年になると予言されているそうです。

どんな年になるのか、どんな年にすべきなのか、予測は立てられても具体的な答えは誰にも出せそうにないようです。2011 年 12 月 3 日、カトマンドゥ市内で行われた恒例の国際障がい者デーに、NBSA も参加しました。

「ネパール全国障がい者連盟」主催の年中行事、なぜかデモ行進も集会も例年になく参加者が少なく、特にカトマンドゥの若い視覚障がい者の不参加が目立ちました。そのわけは「障害者は、その障害の原因、特質及び程度にかかわらず、市民と同等の基本的権利を有する」と言う国連決議をぜんぜん守らないからか？それとも長々続く演説や企画がマンネリで飽きたのか？

原因はよくわかりませんが、若い人たちは確かにつまらないな～とっていたようです。おそらく音声パソコンが普及したのも原因のひとつでしょう。遅ればせながらですが、世界の風はネパールにも吹いている。障がい者の運動も、政府の対応もインターネットカフェから情報を得られます。がんばれ、ネパールの視覚障がい者のネット少年、少女たち。パソコン、もっともっと上手にな～れ。



## NBSA 現地活動報告

### 2011 年 10 月の定例活動

ダサイン祭に向けてボランティアスタッフ一同かなり熱心に働きました。帰省する利用者はかなり前から聞きたい CD を取りに来ているので、そんなに一生懸命に働く必要はないのですが、事務所は日本の晦日のようなムードで残業までするボランティアもいました。その疲れがいまだに抜けないのでしょうか、ダサイン祭が終わってもまだスタッフが戻って来ません。このあたりは日本とは大違いですね。

### 2011 年 11 月の定例活動

#### 定例活動

カセットテープライブラリ事業、トーキングブックの作成。

新作の音声化と共に、これまでカセットテープに吹き込んでいた小説類を CD に移し替えています。他に大学レベルの教材の作成。

#### 点字情報誌タッチ

9月号でお知らせしましたが、いまだにプリンタが不調で、新作タッチ 27号も同市内のネパール盲人協会に印刷をお願いし発送することになりました。恐らく今後も印刷はネパール盲人協会に委託することになりそうです。また、タッチの内容も再検討中で、新聞等に載った障がい者に関連する記事等中心に編集してきましたが、あまりにマンネリと非難の声も上がっています。今後十分に検討してタッチ 28号を作成する予定。

### 2011 年 12 月の定例活動

#### 定例活動

カセットテープライブラリ事業。トーキングブックの作成。

ロシアの文豪ゴーリキの母に次ぎ、なぜかロシア文学が続いています。さらにネパールの政治家の伝記物の録音と編集。日本よりトーキングブックが圧倒的に少ないので、有名どころ、ここだけは押さえておきたいと言った本の注文が多いようです。

#### 点字情報誌タッチ

第 27号の発送を終え、ネパール各地とカトマンドゥ盆地内の団体などに配布しました。事務所のプリンタの修理がどうしてもできずに、同市内の盲人協会に有償で印刷をお願いしました。編集とタイプは NBSA、印刷は盲人協会、発送は NBSA と言ったパターンで今後続けていく予定です。2011 年度は 6 回点字誌を発送する予定でいましたが、これまで発送できたのは 3 回のみ。この分でいくと恐らく計画倒れになりそうで残念です。

### 2012 年 1 月の定例活動

#### 定例活動

カセットテープライブラリ事業。トーキングブックの作成。小説 2 冊完成。

事業名称の変更：これまで馴染んできカセットテープライブラリと言う名称を、時の流れに準じてオーディオライブラリーと改めさせていただきます。名称は変わりますが、事業内容は同じでカセットテープ録音を希望するユーザーには、パソコンからカセットテープに録音してお届けしています。

#### 点字情報誌タッチ

第 28 号の編集に取り掛かっています。これまでご協力頂いた盲学校のブツダ先生に代わり、事務担当ボランティアのニルマル・ビスタ君が業務を引き継いでいます。完成は 1 月末、配布予定月 2 月上旬。

#### 特別事業

12 月 3 日の国際障がい者デーにちなみ、カトマンドゥ市内でデモ行進が開催されました。主催は全国ネパール障がい者連盟。NBSA も呼びかけに応じ、デモ行進と式典に参加しました。「今年のスローガンは、障がい者を含んだよりよい世界の構築と団結。障がい者に関する法令宣言。差別の撤廃及び身体障がい者への配慮。新憲法に障がい者の権利を加える。恒久的平和などかなり長いものでした。

隊列の構成は例年と同じで低身長症の人々を先頭に、車椅子使用者、知的障がい者とその親、視覚障がい者、聴覚障がい者の順番でした。

今年も視覚障がい者の参加は減る傾向にあり「あえてこのような行動に出なくても、行政に訴えるだけで充分」と考えている人が多かったようです。

同日の 12 月 3 日に国際ボランティアデーも祝いました。

本来は 12 月 5 日ですが、2 日明けてまた集まってもらうのも大変だと思い、今年は障がい者デーの式典が終わってから簡素ですがボランティア感謝祭を祝いました。

デモの集会場近くのタカリ料理のレストランで、安いのですがとてもおいしいランチを頂きました。役員代表のオムが「常日頃お世話になります」と挨拶すると「オムさんもういいよ、硬いのは」とボランティアの方から言い出しました。共に生き共に学びあえるのが NBSA の特色です。このボランティアデー、今後もぜひ続けたい NBSA 事業のひとつです。

#### カトマンドゥ NBSA 総会報告

12 月末 現地ネパールの視覚障害者を支える会会長 プララダ タパの任期満了にともない、総会並びに新役員の選挙を行いました。

参加者数：役員及び支援者など合計 25 名が参加

事業内容の一部変更

(1)カセットテープ・ライブラリと言う名称を廃止し、オーディオライブラリに改めた。

これまでカセットテープに吹き込んでいた小説などのオリジナルは、すべて CD への移行が終わり 今後カセットテープ録音を希望するユーザーは、朗読、編集及びコピーなど

実費とする。

(2) 点字マガジン「タッチ」の編集とタイプに変更はないが、プリンタがなおるまで印刷をネパール盲人協会に委託し、コストの儉約から発行部数を減らす。

(3) その他の事業に関してはユーザーの需要を吟味して実施する

#### 新役員を選任

前会長ブララダ・タパの任期が終了し、新役員選挙が行われた

新会長：ビソ・アディカリ（元経理） 写真：右

新副会長：シュレス・ラジュバンダリ（元一般役員）

新経理：アルナ・バスネット（元一般役員）



#### 以下一般役員

ブララダ・タパ、オム・プラカスタカス、ディーパク・サブコタ、シャラダ・アディカリ、ヤダブ・ダダハール、イショワール・ロイラ以上

## シヴァプリ山行 早坂 吉昭



私は、以前ボランティア活動を通じて、渥美さんのNBSA活動を知っており、JICAシニアボランティアのネパール政府のIT管理員として、2003年から2年間ネパールに駐在中にお付き合いさせて頂きました。

昨年（平成23年）11月中旬に、ネパールの友人のMr. Madhur（ネパールのNGO SM

Foundation 主宰者：以下M氏）が開催した第5回ICTコンファレンスに参加。「日本のICT教育の紹介」についてプレゼンテーションを行い、また、カトマンドゥ近郊の小学校を2校訪問して、ネパールのICT教育の実情を視察しました。

1日、NBSAを訪問し中古パソコンを寄贈すると共に、NBSAの活動の一端を見ることができました。



翌朝、M氏の軽自動車に私と渥美さんが同乗し、カトマンドゥの北方のシヴァプリ山(2725m)に登りに行きました。シヴァプリは、公園になっており、ネパール人は10ルピー、外国人は250ルピー入場料を取られます。前回来た時は、ネパール人で通し10ルピーで入れましたが、今回は正規料金を取られました。

天気は快晴で、登り始めから日差しが強く、日頃の運動不足と高齢のために、整備されている石段をあえぎながら登りました。中間の水場がある広場で休憩を取り、最後まで続く石段をゆっくりと休みながら登ったため、頂上に着いたのが、かなり遅くなり午後3時となりました。頂上は大勢の遠足に来た学生で賑わっていました。

樹間から見えるヒマラヤを楽しみ、軽い昼食を取ってから頂上を後にしました。

帰り道は、灌木の中の比較的ゆるやかな下山道でしたが、渥美さんの登山靴の両方の底板が外れてしまい、薄い靴底で歩きにくそうでした。大勢の学生達は、元気に私達を追い抜いて行きました。尼僧のゴンパで日が暮れてしまい、私のヘッドランプを頼りに公園入口にたどり着いた時は、午後7時頃になり真っ暗でした。遅い帰着に2人の公園管理人にクレームを付けられて、やっと門から出してもらえました。帰途に日本料理屋「こてつ」で夕食を渥美さんにご馳走になり、ありがとうございました。

(とんでもありません早坂さん。早坂さんは事務所を見学され、愛用だった新品同様のノートパソコンを寄贈してくださいました。昨年、そのノートパソコンでお孫さんたちの画像を見せていただきました。思い出深い大切な品だったと思います。本当にありがとうございました)



### **純ちゃんの女子寮宿泊体験記**

#### 3度目のネパール旅行

私は小学生のころからネパールが大好きです。現在盲学校で鍼灸やマッサージを教えていて、なかなか長い休みが取りにくいのですが、それでも時間を作って毎年のようにネパールを旅行しています。

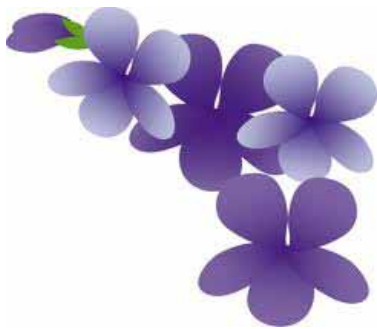
昨年の12月、3度目のネパール旅行をしてきました。

今回の旅行で一番面白かったのは、ネパール盲人協会(NAB)の女子寮に宿泊して、学生さん達と一緒に歌を歌ったり、食事をしたり、買い物に出かけたりして交流したことです。前回女子寮を訪問したときよりも少しだけネパール語の会話が上達していて、更にいろいろな会話を楽しむことができました。夜、みんなとボーイフレンドの話や料理の話をしたり、寮母さん達のものまねをしたりして、大いに盛り上がりました。ホステルの人たちはみんな親切で、あまりネパール語のわからないわたしに、ゆっくり丁寧に接してくれました。このようにして一緒にすごしていると、彼女たちと私とでは置かれている現状は違っ

でも、たまたま産まれた国が違うだけで、視覚障がいを持ちながら同じ事を喜んだり楽しんだりしている仲間なんだ、ということに改めて感じました。

ですから、私はもっともっとネパール語を勉強して、ネパールの視覚障がいを持つ仲間達も、障がいのない人たちとともに安心して、そして楽しく過ごせるように何か手助けをしたいと強く思いました。 <小島純子>

子どもの時からなぜか演歌が大好き、と言う純子さん。「美空ひばりを1曲歌って」とリクエストすると、気さくに大きな声で歌ってくれる。歌は世界を駆け巡る。友達をつくるのが上手ね、純子さん。また来てください。



## ネパールよもやま話

### ネパールの小説「ワセリン」ある少女の物語

ネパールではまだハンドクリームが普及していません。寒い冬の最中、洗濯も食器洗いもゴム手袋も使わずにザブザブ洗う。そこで、冬の間ワセリンを使う人が多いようです。寒さに荒れがちな手にワセリンを塗るのは、ちょっとした女性のおしゃれ。可愛いボトルに入っているものもあります。

地方に住むある少女は、すべすべしたワセリンを一度ひびの入った手に塗ってみたいと密かにあこがれていました。何しろ彼女の生活は、朝は3時に起きて牛の乳を搾り、それから家族の朝ごはんを作り、合間に弟や妹を起こしてお茶を飲ませる、と、とてもせわしないのです。ラジオのCMを聴いていて、次に街に行くときは絶対にワセリンを買おうと密かにお金を貯めていました。いよいよ街に行く日がきました。

用事を済ませ、少女はわくわくしながら薬局に入って行きました。

「おじさん、ワセリンちょうだい！」と元気よく言い、50ルピー札1枚(約50円)をカウンターに置きました。

「じょうちゃん、ワセリンは先月から値上がりして60ルピーになったんだよ...」と薬局の人はすまなさそうに言いました。

「えっ」

少女は一瞬息を呑みました。

そして気を取り直したように元気な声で、「おじさん。今日はやめとくね」と言い、逃げるように薬局を飛び出して行きました。

どこかで聞いたことのある話、と思われた方もいらっしゃるでしょう？

そうです、志賀直哉の小説「小僧の神様」によく似ている。「小僧の神様」のほうは、丁稚奉公の仙吉が一度でいいからマグロの握りを食べてみたいと熱望するお話です。こちらもしビアな話で、仙吉はお使いの電車賃を浮かし、すし屋に入ってマグロの握りを手に取ったものの、値段を聞いてそっと寿司をもとにもどす。ここまでは薬品と魚の違いはあるが似たようなもの。

ところが仙吉はラッキーで、いきさつを見ていたある貴族院の男が、後日仙吉を無名で呼びすしをたらふく食べさせる。こんな嬉しいことをしてくれたのはきっと神様にちがいない、と仙吉は思うのでした。

う～ん、確かにかなり似たお話ですが結末はあまりに違いすぎる。

ネパールのほうが過酷に思えるのですが、笑顔を作って店を飛び出していった少女。

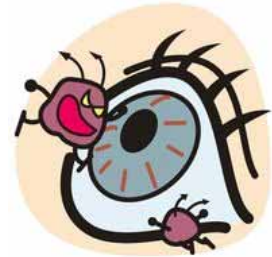
「ケ・ガルネ」ネパール語でいったいどうしよう、と言う意味ですがこれを使うときはたいていの場合どうしようもない。と言った意味合いが含まれているのです。

## アカン セワ カリキュラム

### いっしょに勉強しましょう 目の病気

毎週日曜日午後6時、ネパール国営ラジオ放送で目の病気に関する番組が放送されます。BGMはネパールの民謡。話の内容は大変にシンプル。誰にもわかりやすいアイケアを紹介しています。

その一例は汚い手で目をさわってはだめ。手はいつも清潔にしておきましょう。目やにがたくさん出たら、薬局に行って目薬を買いましょう。それでも治らなかったら、目医者さんに見せましょう。大変な病気になることもあります。



なんだか目に膜が張ったように見えにくい。それは白内障と呼ばれる病気かもしれませんよ、お医者さんに行きましょう。手術料は片目2000ルピー(約2千円)簡単な手術で治ります。目は痛くないけどものが見えにくいな、と思ったら目医者さんに相談しましょう。めがねが必要かもしれません。などなど。

日本ではこうした目の病気は簡単に治りますね。しかし、ネパールに限らず多くの発展途上国での失明率のナンバーワンが白内障なのです。また世界保健機構(WHO)(2004年)の発表によると、全世界の失明原因： 1位 白内障(39.1%) 2位 屈折異常(18.2%) 3位 緑内障(10.1%) 4位 加齢黄斑変性(7.1%) 5位 角膜混濁(4.2%)の順位となっています。

## S・ラゾパティアのゴールデンアルバム NBSAからも発売

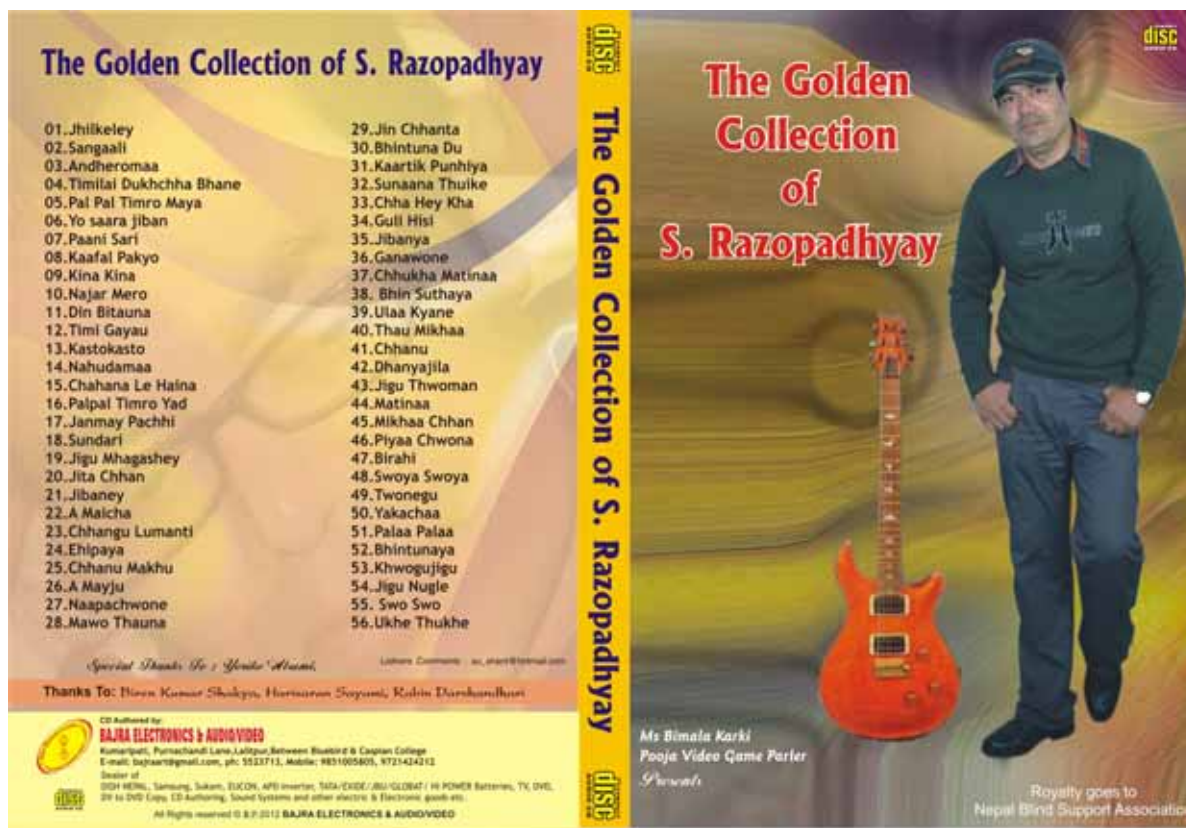
「子どもの頃から音楽が大好き。家庭の中にいつも音楽が流れていた」歌手ラゾパティアはこう語る。父の唄は僕の子守唄、おじいちゃんからは太鼓をならった。成人してから、僕は自分で唄を作るようになり、日本の哀愁のある演歌に強く引かれた。と言って彼は2、3曲日本の歌謡曲を披露してくれた。うーん、すごい！完璧な発音。演歌独特のこぶしセンチメンタルな味わいが心を打つ。彼が最も好きな歌手はエルビス。五木ひろしなどの日本の演歌歌手。そして日本に6年間住んでいたネパールの歌手、オム・ビクラムビスタ。(彼はもう60を越しただろう)

S・ラゾパティアさんは、ネパールで最高級のホテルハイヤットで経理の仕事をしている。仕事がオフの時は音楽を作る。彼の歌は全曲自作。

忙しい彼が、ある時カトマンドウの NBSA を訪問してくれた。「今度僕のゴールデンアルバムを出すんですけど、収益の1割を NBSA に寄付させてください」とのありがたい申し出。では、日本人にも買ってもらいましょう、ということになったのです。

最後に彼に聞きました。ネパールには様々なチャリティー団体があるのに、なぜ NBSA を選んだのですか？「僕がネパールのクラシック、サロダを初めて習った先生が目の不自由な人だったからなんです」という答えが返ってきました。

S・ラゾパティアのゴールデンアルバムぜひ買ってください。



1部 1500円、申し込み先は日本の事務局へ: 発送は3月中旬になります。

日本の事務局: 〒284-0005、千葉県四街道市四街道 1-9-3



## ポコアポコ 千葉のフェアトレードショップからのお知らせ

面白くってなんだか楽しいネパールグッズ！

ネパール産岩塩や紅茶に人気集中

NBSA では、千葉県柏市の視覚障がい者を中心とする障がいサポート小規模作業所ポコアポコに、ネパールの民芸品やおしゃれグッズの販売をお願いしています。

ポコアポコのスタッフはすご〜く協力的。季節や流行に合わせたネパール製品を作業所内ばかりでなく、バザーなどでも積極的に販売してくれます。ポコアポコは本当に NBSA の心強い助っ人。



ネパール特産のパシュミナのストールやマフラーも置いています。また定番のネパール紅茶や、ヒマラヤの岩塩も人気者。収益は NBSA に還元されます。たくさん買ってください。ご協力のほどお願いします。

住所：千葉県柏市 松葉町 6-8-1 問い合わせ：ポコアポコ作業所（電）04-7136-0505



左は、2010年のNBSAのスタディーツアーに参加したポコアポコのスタッフ、藤原さんが撮ってくれた盲学校訪問風景です。

みんな可愛いでしょ。藤原さん目がうるるんです。今年もスタディーツアー計画中！  
みなさん、ふるってご参加ください。

### 事務局だよ

NBSA 会員の皆様、支援者の皆様、いかがお過ごしでしょうか。日頃より NBSA の活動にご支援をいただき、事務局として心から感謝申し上げます。

2012 年を迎えて既に 1 ヶ月余を過ぎようとしています。今年もどうぞ一層のご支援をよろしく願いいたします。

この頃ニュースを見る度に、日本社会のあり方を考えてしまいます。未曾有の東日本大震災にもかかわらず、復興に立ち向かう人々の力強い姿があるかと思えば、一方で深刻化する

る貧困や治安問題、政治の混迷など、社会は向かうべき確かな方向を見失いかけているように思えてなりません。

先日、私が非常勤講師をしている専門学校で中国人留学生に「自国と比べて今の日本社会をどう見るか」と尋ねてみました。すると彼の答えは、「中国は世界第二位の経済大国になったと言われるが、国民ひとり当たりの所得は日本の10分の1にしか過ぎません。震災から立ち直ろうとする人々の様子を見ても、日本人の礼儀正しさと勤勉さには驚きです。求められることはもっと自分に自信を持って、世界に自己主張していくことではないでしょうか」でした。確かに私たちは、今こそ、もっと足元に目を向け、社会の連帯を考えるとときにあるように思います。そのヒントは新興国にあると思われます。NBSAの活動も、支援者というより学ぶ側に立つことを忘れてはならないのではないのでしょうか。

さて、NBSAも決算を迎えようとしています。これまで会員や支援者の皆様から貴重なご好意が寄せられていますが、今年度の会費が未納の方もかなりおられます。厳しい経済情勢の中でお願いするのは誠に心苦しい次第ですが、会費未納の方は同封の振込用紙をご利用いただき、来る3月20日までにご送金いただきたく、お願い申し上げます。なお、会報と送金が行き違いになりましたらご容赦ください。(振込用紙は事務処理上、すべての会報に同封しております。ご了承ください。)(高梨 記)

#### ネットニュースのご紹介

毎月1回配信のNBSA ネットニュースはネパール現地の活動報告のほか、ネパール関連の様々なニュースを掲載しています。

特に「時のネパール」はネパールの政情を掲載し渡航状況を知る上で便利。

**ホームページ** NBSA : <http://NBSA.sakura.ne.jp/>

毎月の配信をご希望の方は直接インターネットでお申し込みください。

E-mail: [yorikonepal@hotmail.com](mailto:yorikonepal@hotmail.com) または [NBSA@mail.com.np](mailto:NBSA@mail.com.np)

Nepal Blind Support Association (NBSA)

P.O.Box:8974 PCN-111 Katmandu Nepal Tel:977-444-6234

E-mail: [yorikonepal@hotmail.com](mailto:yorikonepal@hotmail.com) または [NBSA@mail.com.np](mailto:NBSA@mail.com.np)

日本の事務局:

〒284-0005 千葉県四街道市四街道 1-9-3 視覚障がい者総合支援センターちば内 NBSA

電話:043-424-2501 Fax:043-424-2486 事務局担当者 高梨憲司

NBSA、HP:<http://NBSA.sakura.ne.jp/>

維持会費:個人会員年間6,000円/協力会員年間3,000円/法人会員年間15,000円

振込先:口座記号番号00190-7-762775(ネパールの視覚障害者を支える会)